

さくら（ソメイヨシノ）のヤゴの移植について

長津田駅北口地区第一種市街地再開発事業区域内には、旧長津田公園（通称：汽車ポッポ公園）があり、そこには古くから地元の方々に慣れ親しんできた「さくら（ソメイヨシノ）」の大木がありますが、そのさくらの大木も本再開発事業により、残念ながら伐採せざるを得ない状況にあります。

しかしながら、さくらにはヤゴが育成しており、大木の移植は叶わずとも、ヤゴならば僅かながらでも移植の可能性があるとのことから、近隣のマンション管理組合様からの申出（下記参照）を受け、ヤゴの移植に取り組みました。

この地で育った「さくらの歴史（遺伝子）」が、受け継がれていくことを大変喜ばしく思うと同時に、無事成長していくことを心より願っています。

【管理組合様からの依頼文】

横浜市住宅供給公社
 所長 餅田 哲也 様

平成 22 年 3 月 25 日

管理組合
 理事長

汽車ポッポ公園の桜のヤゴの移植について

拝啓 日頃より長津田駅北口地区再開発事業工事の安全管理にご尽力いただきまして心より感謝申し上げます。私共も将来の長津田の街を想い描きながら日々、建物の解体、駐輪場の基礎工事を見守っております。

さて先般、貴社から「汽車ポッポ公園内の樹木の取扱等について」の文書を受け賜りました。40年以上にわたり長津田住民を和ませてくれ、また深い愛着を感じていた桜の大木が、このまま伐採されてしまうのは大変忍びなく感じておりましたが、聞くところによりますと、桜にはヤゴが育成しており、ヤゴならば移植の可能性があるとお聞きしました。

そこで管理組合といたしましては、是非とも汽車ポッポ公園の桜のヤゴを次の世代に引き継ぐためにも敷地内に譲り受けたいと考え、理事会において受け入れを決議しました。

には地元から移り住んだ住民も多く、毎年、汽車ポッポ公園の桜を楽しみにしておりました。ヤゴを譲り受け、当敷地内に根付くことになれば、これからも同じ長津田の地で花を咲かせることが可能となり、また歴史が継承されて行くことを大変喜ばしく思います。

お手数をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、4月3日には、汽車ポッポ公園のお別れイベントが開催されると聞いております。最後のお花見に多くの人々が集い、イベントの成功を心より祈念申し上げます。

敬具



3株のヤゴが
取れました。



《移植状況準備》



《管理組合のみなさまと》



《1株目の移植状況》



《2株目の移植状況》



《3株目の移植状況》